

## コミュニティバス「こうはん線」新デザインのお披露目

コミュニティバスの愛着を高めるため、車両更新を行う「こうはん線」を平成28年4月1日（金）から新しいデザインで運行します。

新しいデザインは、昨年12月に開催した「市庁舎完成記念イベント」や、前回の「瀬戸市地域公共交通会議」で人気投票（総数509票）を行い、5案のデザインの中から最も多くの票（178票）が入ったデザインを選出しました。瀬戸らしさを感じさせる「染付ブルー（瀬戸染付をイメージした青色）」を基調に、市の花「つばき」とゆるやかに流れる「瀬戸川」を表現し、モリゾー・キッコロを配置しています。

新しい車両は、3月30日（水）午前10時から正午まで開催する「内浦歩道橋完成記念イベント（やすらぎ会館前河川敷）」でお披露目し、バスの乗り方体験を行います。

## ◎PR方法

- ・広報せと3月15日号（2P・3P）、3月1日号（14P）掲載
- ・市ホームページ掲載
- ・効範連区、西陵連区のバス広報全戸配布
- ・ラジオサンキュー84.5「只今！せとラジオ」3月15日放送
- ・グリーンシティケーブルテレビ「只今！せとテレビ」4月15日～30日放送
- ・中日新聞3月10日記事掲載



## 地域バスデザイン一新

### 来月、瀬戸市 ルートなど一部変更

瀬戸市は四月一日からコミュニティバスのルートや時刻表を一部変更する。また、車両を更新する。このように、コミュニティバスは、市民が利用しやすいように、また、車両を更新する

バス一台のデザインを一新し、三十日に新車のお披露目をする。市内では現在、シャボンボクシー五台が八路線を行っている。今回、こうはん線、上半田川線、片草線、岩屋堂線の四路線に変更を加えた。

こうはん線では住民の要望が強かった西追分町の公立陶生病院への乗り入れを実現。名鉄瀬戸線水野駅前にもバス停を新設し、乗り換えをしやすいとする。

上半田川線では、民家が少ない地域を通る上半田川口経由を取りやめ、名古屋学院大クリニックや北山団地経由のルートに変更する。岩屋堂線は住宅沿

いを通るルートにし、片草線もバス停を新設する。

また、使用開始から五年が経過し、利用者が増えている市西部を走るこうはん線のバスは、定員十人から十四人の車両に更新する。車体のデザインも、瀬戸染付をイメージした青色を基調に、市の花つばきと瀬戸川を描いたものにする。

新しいバスは、三十日午前十時から、市福祉保健センター（やすらぎ会館）前の河川敷で開かれる内浦歩道橋完成記念イベントでお披露目される。☎市都市計画課 0561(88) 26800 (堀井聡子)

市の花つばきと瀬戸染付の青色をイメージした新しいバスのイメージ